



見分森

第533号

2016年
9月6日(火)

発行: 学校法人協和学院 水沢第一高等学校 (文責: 藤沢)

宮澤賢治の足跡を訪ねて

8月25日(木)に普通科1年1・2組、26日(金)に普通科1年3組・調理科1年が、国語総合の授業の一環で、宮澤賢治文学散歩に行ってきました。

事前に授業で数時間宮澤賢治についてビデオで学んで花巻に出発。宮澤賢治記念館・イーハトーヴ館・宮澤賢治童話村・羅須地人協会・賢治詩碑を見学し、さまざまな生の資料等に触れ、郷土作家である宮澤賢治の生き方や作品についての理解を深めてきました。

石川七星さんは「宮澤賢治については事前に国語の授業で学習していましたが、実際に生誕120年ということで賢治直筆の手帳が見られたり、賢治が創作した『どんぐりと山猫』等のアニメーションを鑑賞できたり、学校での授業だけでは学ぶことができないことを学ぶことができました。この岩手に素晴らしい歴史を残した宮澤賢治の一生をまじかに知ることができてよかったです。」と話してくれました。

10月29日(土)～30日(日)の一高祭では、クラス展示の一つとして授業と今回の文学散歩を通して学んだことをグループごとに新聞にまとめて発表する予定です。



《校訓》「神清智明(しんせいちみょう)」「松操竹節(しょうそうちくせつ)」「衆心成城(しゅうしんしろをなす)」
心は清く賢明で、確固たる信念を持ち、心をついにすれば何事も成せる。

『教育の精神』 教えることは教えられることだ 育てることは育てられることだ
生徒と教師の間に この緊密な関係が成り立つとき はじめて「教育」というステージの 幕が開かれる
子どもから学びながら 父母や地域に支えられながら はじめて「学校」という豊かなドラマが 進行する

『教育目標』 人間の尊厳を自覚しそれを貫く人間 いかなる困難にもうちかって、自主的に生きる人間
正しい知識と技術を身につけた人間に育てること

水沢第一高等学校の教育(共育)の考え方・土台は、この校訓と精神です。

地域の方とかるしお交流会

調理科2年生が、8月31日(水)に本校専用調理室で行われた奥州保健所主催の「かるしお交流会」に地域の調理師や栄養士の方々と共に参加。まず県立中央病院の方々の取り組みを聴き、実際に減塩食を試食。感想を発表しました。その後水沢区中学校給食センターなど地域で行っているかるしおの実践発表やそれに対する国立循環器センターの高田彰先生の講評を聴いたり、他地域の取り組みVTRを見たりして、かるしお(減塩)についての知識等を深めました。

千葉未来さんは「減塩した料理を食べてみましたが、減塩しているとは思えないくらい味がしっかりしていてとても美味しかったです。今回の講演を通して減塩する大切さを学んだので、これからの生活で減塩する意識を高めていきたいです。」と話してくれました。

行事予定

9 月	
7	水 前期期末考査 ハトミソト新人地区予選
8	木
9	金 陸上新人県大会 野球県大会開始
10	土 ふるさと市場 琴演奏
11	日 見分森敬老会 琴演奏
12	月
13	火 3年生を励ます会
14	水 1年被災地ボランティア
15	木 水泳新人県大会
16	金 就職統一選考日 職員会議
17	土
18	日
19	月 敬老の日
20	火 2年文学散歩
21	水 評価伝票提出
22	木 秋分の日
23	金 3年進学模試
24	土 同窓会総会(17時総会・18時懇親会)
25	日 奥州太鼓フェス
26	月 一覧表提出
27	火
28	水 成績会議 1年進路ガイダンス
29	木 2年被災地ボランティア
30	金
10 月	
1	土 衣替え 国体開会式
2	日
3	月 整容指導 通知票発送
4	火
5	水
6	木
7	金 英語検定
8	土
9	日

水沢第一高等学校<問い合わせ・連絡先>
☎0197-24-6171(事務室) ☎0197-24-6173(職員室)
Eメール: kyouwa@mizuichi.ed.jp

答えられない悔しさもありましたが、 とても楽しかった留学経験

8月20日～28日まで、奥州市の姉妹都市青少年交換交流事業でオーストリアに行ってきた及川里桜さんが、帰国しての感想を話してくれました。

「私は今回、オーストリアのロイテ、プライテンヴァング市へ交換留学に行ってきました。有名な城跡に行ったり山登りなどをしたりし、地域の歴史に沢山触れ合うことができました。また言葉では表せないくらいきれいな星空や町並みなどを見ることができ、とても充実した9日間でした。食べ物は全く見たことがないものもあり、食べ方や味等戸惑うこともありましたが、ホストファミリーとの会話をしながらの食事はとても楽しかったです。一緒に過ごした時間はとても少ないものでしたが、毎日私が好きなお茶を出してくれるなど笑顔と気遣いを絶やさないう方で、大変感謝しています。今回は英語とドイツ語の二つの言語に触れ、改めて『もっと英語を勉強しよう』と思いました。聴くことはできても、うまく答えられないことが多く、とても悔しい気持ちがいっぱいで、いつか普通に家族や友達のように話したいと思いました。これからも英語を勉強して、交流を続けていきたいです。」

2017/1/4～18カナダ、2017/1/4～11台湾への留学生を募集しています。それぞれ4名程度（選考有）。9/23が応募締切です。興味・関心のある方積極的にご応募ください。

（三品先生まで）



2年生進路ガイダンス

8月24日（水）5～6校時、2年生を対象とした進路ガイダンスが行われました。Mホール（講堂）には28の大学や専門学校がそれぞれブースを開き、学校の特徴や、授業の様子、取得できる資格等について説明。生徒たちは自分で興味のあるブースを訪れ説明を聞いていました。また調理科2年生の教室では、就職希望者を対象にガイダンス。企業が求める人物像など具体的に話をいただきました。

東北福祉大学と東北文化学園大学の話をお聴いた藤原優香さんは「医療職をするにあたって大切なことはコミュニケーションということをお聞き、普段話さない人とも挨拶を通じて会話することが必要だと思いました。また、人を観察する力や根気等も必要だと思いました。進路選択に当たっては様々な大学を見学していきたいです。」と、就職ガイダンスを受けた吉田利帆さんは「普段親や周りの人から聞いているのとはまた違った様々な職種について話を聴くことができました。その中で、笑顔でお客様に接している人とマニュアル通りに言葉を話して笑顔がない人では与える印象が大きく異なることを知りました。今日のことを参考にして、自分に合った職業を見つけたいです。」とそれぞれ話してくれました。

高田へ被災地ボランティア 3年生

8月25日（木）に普通科3年1組・調理科3年生が、8月26日（金）に普通科3年2組・3組が被災地ボランティアに行ってきました。

今回は岩手県立高田高校のグラウンドに立てられている仮設住宅の周りの草取り作業を行いました。暑い中ではありましたが、生徒会ボランティア委員会の呼びかけに応じた参加者は、皆少しでも被災地の復興支援になればと、一所懸命に作業を行っていました。

星野博さんは「自分は被災地について、最初のころに比べて建物が増えたと感じましたが、まだ防波堤の修理や津波によって壊された建物が6年たった今でも残っていました。この風景を見て、改めて津波の恐ろしさを感じました。そんな中での今回のボランティアは、草取りで短い時間でしたが、みんな手を休めずに協力して一所懸命頑張っていました。自分はこの被災地で見たこと感じたことを忘れずに次の世代に伝えていきたいと思いました。」と帰校後話してくれました。



各部の活躍

☆テニス部 NHK杯テニス予選 岩田直出場

☆サッカー部 迎撃 第12節 vs大東 8:1勝 第13節 vs水農 7:0勝 第14節 vs水工 1:2敗

☆クッキング部 東日本大震災の内陸避難者交流会 汁物提供

☆吹奏楽部 第1回定期演奏会

☆バレー部 全日本高校バレーボール選手権大会北奥地区

ブロックリーグ vs専北 2:0勝 vs金ヶ崎 2:0勝 ブロック1位通過 トーナメント vs水商 0:2敗 vs北上翔南 0:2敗 県大会4位通過



